

# CASBEE® - 建築(新築)

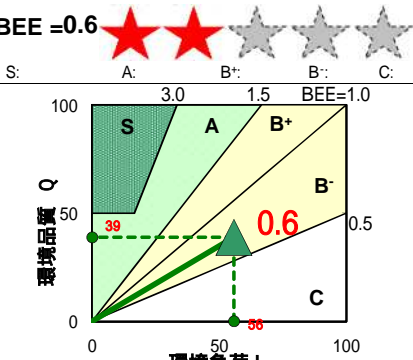
## 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版, CASBEE埼玉県2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称)イオンタウンふじみ野新築工	階数	地上5F、地下0F		
建設地	埼玉県ふじみ野市福岡二丁目1500	構造	S造		
用途地域	都市計画区域内、市街化区域、防	平均居住人員	120 人		
地域区分	5地域	年間使用時間	1,960 時間/年(想定値)		
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2020年5月 予定	評価の実施日	2019年4月11日		
敷地面積	50,196 m <sup>2</sup>	作成者	西川学		
建築面積	3,647 m <sup>2</sup>	確認日	2019年4月12日		
延床面積	17,650 m <sup>2</sup>	確認者	須田敏明		

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

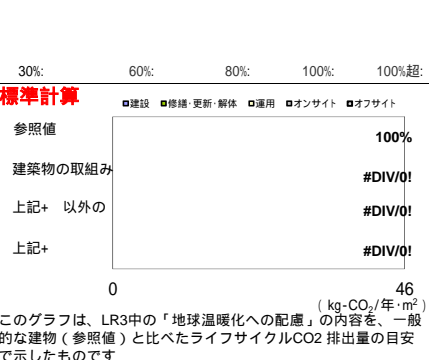
**BEE = 0.6** ★★☆☆☆☆



環境品質 Q (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

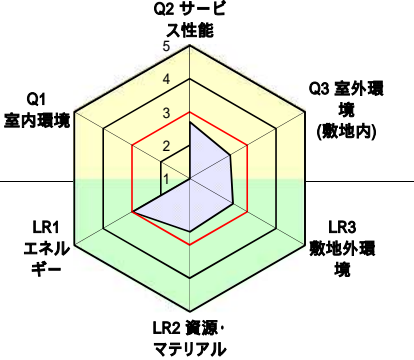
### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算



46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



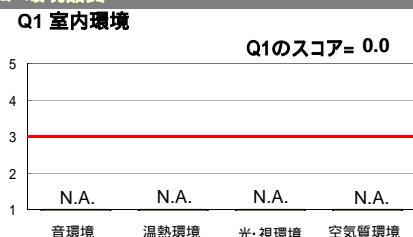
Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 4  
Q3 室外環境(敷地内): 3  
LR1 エネルギー: 2  
LR2 資源・マテリアル: 2  
LR3 敷地外環境: 2

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.5**

#### Q1 室内環境

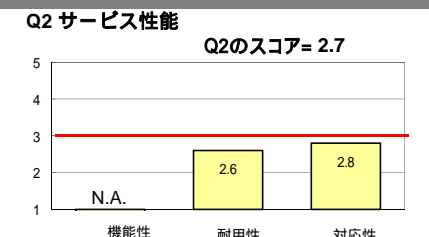
Q1のスコア = 0.0



音環境, 温熱環境, 光・視環境, 空気質環境


#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7



#### Q3 室外環境(敷地内)

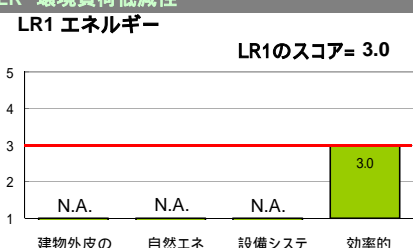
Q3のスコア = 2.4



**LR のスコア = 2.7**

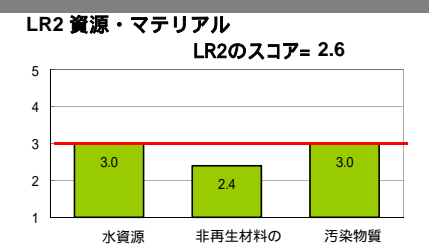
#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0



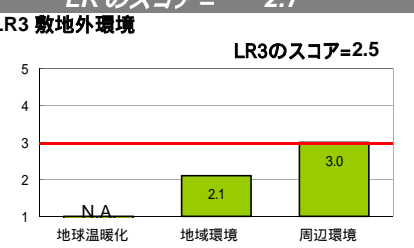
#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6



#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.5



### 3 設計上の配慮事項

総合		その他
壁長さ比率の数字は小さく用途変更が容易である。		特になし。
Q1 室内環境	特になし。	Q2 サービス性能 壁長さ比率 = 0.076005
Q3 室外環境(敷地内)	特になし。	特になし。
LR1 エネルギー	特になし。	LR2 資源・マテリアル 特になし。
LR3 敷地外環境	特になし。	特になし。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS**  
**(仮称)イオンタウンふじみ野新築工事(立体駐車場棟)**

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C  
 評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>0 建築物の環境品質</b>								<b>2.5</b>	
<b>Q1 室内環境</b>									
<b>1 音環境</b>									
1.1 室内騒音レベル				-	-	-	-		
1.2 遮音				-	-	-	-		
1 開口部遮音性能				-	-	-	-		
2 界壁遮音性能				-	-	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-		
1.3 吸音				-	-	-	-		
<b>2 温熱環境</b>									
2.1 室温制御				-	-	-	-		
1 室温				-	-	-	-		
2 外皮性能				-	-	-	-		
3 ゾーン別制御性				-	-	-	-		
2.2 湿度制御				-	-	-	-		
2.3 空調方式				-	-	-	-		
<b>3 光・視環境</b>									
3.1 昼光利用				-	-	-	-		
1 昼光率				-	-	-	-		
2 方位別開口				-	-	-	-		
3 昼光利用設備				-	-	-	-		
3.2 グレア対策				-	-	-	-		
1 昼光制御				-	-	-	-		
3.3 照度				-	-	-	-		
3.4 照明制御				-	-	-	-		
<b>4 空気質環境</b>									
4.1 発生源対策				-	-	-	-		
1 化学汚染物質				-	-	-	-		
4.2 換気				-	-	-	-		
1 換気量				-	-	-	-		
2 自然換気性能				-	-	-	-		
3 取り入れ外気への配慮				-	-	-	-		
4.3 運用管理				-	-	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視				-	-	-	-		
2 喫煙の制御				-	-	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>					0.43			<b>2.7</b>	
<b>1 機能性</b>									
1.1 機能性・使いやすさ				-	-	-	-		
1 広さ・収納性				-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応				-	-	-	-		
3 バリアフリー計画				-	-	-	-		
1.2 心理性・快適性				-	-	-	-		
1 広さ感・景観				-	-	-	-		
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-		
3 内装計画				-	-	-	-		
1.3 維持管理				-	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保				-	-	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.6</b>	0.50			<b>2.6</b>	
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>2.2</b>	0.30				
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				-	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20				
2.4 信頼性				<b>2.3</b>	0.20				
1 空調・換気設備				3.0	0.33				
2 給排水・衛生設備				-	-				
3 電気設備				3.0	0.33				
4 機械・配管支持方法				1.0	0.33				
5 通信・情報設備				-	-				

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>2.8</b>	0.50	-	-	<b>2.8</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>2.6</b>	0.30	-	-	
1	階高のゆとり		1.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 = 0.076005	5.0	0.40	-	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		-	-	-	-	
2	給排水管の更新性		-	-	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.20	-	-	
4	通信配線の更新性		-	-	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.40	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.40	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.57</b>	-	-	<b>2.4</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		<b>1.0</b>	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>2.7</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			-	-	-	-	-
<b>2 自然エネルギー利用</b>			-	-	-	-	-
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = 対象外	-	-	-	-	-
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	1.00	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.6</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>1.1 節水</b>			-	-	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>2.4</b>	0.60	-	-	<b>2.4</b>
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>3.0</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	1.00	-	-	
3	冷媒		-	-	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.5</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			-	-	-	-	-
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>2.1</b>	0.50	-	-	<b>2.1</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			-	-	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>2.0</b>	0.67	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>2.5</b>	0.33	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		-	-	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		3.0	1.00	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

# CASBEE埼玉県

# 重点項目シート






使用評価ソフトウェアバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)イオンタウンふじみ野新築工事(立体駐車場棟)	BEE	<b>0.6</b>	BEEランク
------	----------------------------	-----	------------	--------

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
<b>0.0</b>	+	<b>2.3</b>	=	<b>2.3</b> 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	<b>0.0</b>
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	<b>0.0</b>
特になし。			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	<b>2.3</b>
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	<b>2.0</b>
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	<b>3.0</b>
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	<b>2.0</b>
特になし。			

: 入力欄